

生活環境

目標1:環境にやさしく資源を有効に活用する循環型社会を目指すまち

令和7年3月末 達成目標
市民1人1日当たりのごみ排出量 500g
リサイクル率 25.0%
※令和6年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

○：実施
☆：中止
－：未実施

ア エコライフスタイルの実践

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度											令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
1) エコを意識しながら生活するライフスタイルの実践	エコライフたきかわ (通称:エコたき)	市民事業者	◆ 新たな市民運動「エコライフたきかわ」に参加し、その取り組みを実践します。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		【評価】 ◆ 「エコライフたきかわ」への取組を通して若年者とりわけ学生を中心に各学校での取り組みについては引き継がれていくことでより良い活動が期待され、活動の中心になってほしい。 【課題】 ◆ 「エコライフたきかわ」の取組として、各学校にお願いしなければならない活動で、学校に頼りきりなのが心配。 【要望】 ◆ 「エコライフたきかわ」の取組が長く続いてほしい。	
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○	○	○	○			
				◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-			
				◆ 滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部！」(以下、「エコ部！」という。)並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施	-	○	-	-	-	-	-	-	-			
				◆ 空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会及び卒業生を対象とした講習会において、エコドライブ講習会を実施。また、エコドライブに特化したメールマガジンを令和元年度まで配信	○	○	○	○	-	○	○	○	○			
				◆ 空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示(水素燃料発電装置搭載)とエコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験ブースの出演	☆	○	☆	○	-	-	-	-	-			
				◆ 「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示することにより、公共交通機関の利用並びに「エコライフたきかわ」への参加を促進	-	○	○	○	-	-	-	-	-			
				◆ 市内全保育所、空知自動車学園、市立図書館と連携した「エコドライブ」啓発ぬりえ展示の実施(同時にクールビズ、ウォームビズ啓発展示も実施)	-	○	○	○	-	○	○	○	○			
				◆ 啓発についての情報発信 プレス空知に掲載(平成28年度から) FMG 'Skyでの番組放送(平成28～29年度、令和3年度) 地元情報誌SORAIに掲載(平成28年度) 北海道新聞空知版(発行数63,000部)に掲載(平成29年度から令和元年度)	○	○	○	○	-	○	-	-	-			
				◆ 平成27年度に作成した滝川西高校美術部による「エコたき」普及キャラクター・推進ポスター・チラシを環境月間時の市立図書館、滝川市リサイクルフェア等の市内イベント時での配布。また、「エコたき」チラシを全世帯に配布したほか、平成28年度に滝川商工会議所と連携し各事業所へ配布、毎年のリサイクル推進員へチラシ配布を実施	○	○	○	○	○	○	○	○	-			

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				◆ 環境月間の環境展示の実施(平成29年度までは市内全低学生が実施した「エコたき日記」の展示も実施)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【評価】 ◆ 令和5年度と比較して、滝川市のリサイクル率は横ばいだが、1人・1日当たりのごみ排出量が減っていることを評価する。
				◆ 滝川市立江陵中学校1年生、滝川市立開西中学校1年生への環境教育授業実施(令和4年度から令和6年度までは滝川市立江陵中学校でのみ実施)	-	○	○	○	○	○	☆	☆	○		
				◆ 環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用した「COOL CHOICEでエコたき」事業の実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		
				◆ 子ども達を対象にごみとリサイクルに特化し「エコたき」をテーマにしたイベント「エコまつりin美術自然史館」を國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科並びに「エコ部！」が主体となって実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-		

イ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) ごみの減量化(リデュース)・分別	情報収集・発信	市民事業者	◆ ごみの減量化などに関する学習会や講演会などに参加します。	◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		【評価】 ◆ ごみの分別講座を積極的に開催し、市民にごみの出し方を周知することによって、リサイクル率向上に繋げたことを評価する。 ◆ 広報により、リサイクルの方法を周知することで、市民の分別意識を向上させている。 ◆ ごみ処理について、どのようにリサイクルされているかを知らない人も多いので、詳しく周知していただきたい。 ◆ ごみ分別講座の開催に参加して「長年住んでいたが新たに分別を知った」と言う市民の声があった。講座に参加することで分別方法を再認識できる。 【課題】 ◆ 市民のニーズに合わせた小さいごみ袋の導入を検討する必要がある。 ◆ ごみ回収業者から、現在の分別・ごみの出し方の現状を把握する必要がある。 ◆ ごみの出し方、特に生ごみ・可燃ごみがカラスの被害が多く、出し方の工夫が必要である。
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○	○	○	○		
		市	◆ ホームページやパンフレットなどを利用し、ごみの分別方法や減量化の啓発を行います。 ◆ ごみの減量化に必要なごみを出さない生活のあり方についてイベントやホームページなどで啓発します。 ◆ ごみの減量化などに関する学習会や講演会などの開催に努めます。	◆ ごみ分別一覧表(A3サイズ)を広報3月で全世帯に配布	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
				◆ 「ごみ回収のその後・・・」のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 令和5年度からは、「滝川市の収集されたごみの行方は！？」に更新	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				◆ ホームページにごみのガイドブックを掲載するなどして分別方法を周知	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				◆ 拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				◆ 市内中学校において、ごみの減量や処理方法についての環境教育授業を実施	○	○	○	-	-	-	-	-	-		
				◆ 出前講座を開催。燃やせるごみの中から「雑がみ」を資源ごみとして分別し、ごみの量を減らし、ごみ袋の節約になることを説明するとともに、今後施行されるプラスチックごみの分類についても説明を行った(令和4年度からは市民向け「ごみ分別出前講座」を開催)	-	-	-	-	-	○	○	○	○		
				◆ ごみ分別学習会を開催。滝川消費者協会の定期総会に先立って、収集後のごみの行方(処理方法)やどんな種類のごみの排出量が多いのかを資料を用いて学習会を実施。分別方法がわからないごみについて、質問コーナーを設けることで、分別の理解を深めた	-	-	-	-	-	-	-	-	○		

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	排出抑制の取り組み	市民	◆ マイバッグを利用します。	◆ 「ごみ回収のその後・・・」のチラシを作成し、ホームページ上に掲載 令和5年度からは、「滝川市の収集されたごみの行方は！？」に更新	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【意見】 ◆ ボランティア袋のサイズが40ℓで大きいのではないか。家の周辺のごみ拾いをしているが、1年間続けてもごみ袋が満杯にならない。燃やせるごみ袋にしてもおむつなど臭いが出て、長期間溜めておけないものがあるので、小さいごみ袋の導入を検討してはどうだろうか。
			◆ ものを大切に使うことを基本とし、ごみを出さない生活を心掛けます。	◆ 拠点回収の周知をホームページ・ガイドブック・チラシにより実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			◆ ごみの分別方法を守ります。	◆ 広報にて定期的にごみ処理の注意点などを掲載	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			◆ 旧粗大センターで資源ごみ回収を実施(土、日、月の13時～16時) 施設の老朽化などの理由により、令和4年度で回収を終了	◆ 旧粗大センターで資源ごみ回収を実施(土、日、月の13時～16時) 施設の老朽化などの理由により、令和4年度で回収を終了	○	○	○	○	○	○	○	-	-		
		事業者	◆ 簡易包装に努めます。	◆ 市内のリサイクルショップをホームページ上で周知	○	○	○	○	○	○	○	○	○		◆ ごみ問題や環境問題は動きづらい問題だが、きっかけがあれば一気に進む内容でもある。多くの自治体が同じ課題意識を持っているので、滝川市が先進的なモデルになるような文化を創ることができたら素晴らしい。環境施策が滝川市の代名詞になるよう取り組みに力を入れてほしい。
			◆ 産業廃棄物と事業系一般廃棄物などの区分を理解し、ごみの分別を守ります。	◆ 通常商品と比較し、安価または同額な場合はリサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入促進を実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			◆ ごみ減量化の視点から商品開発に努めます。												
		市	◆ ごみ減量化の取り組みの検証・評価を行います。	◆ 市内4か所の学童クラブに登録している小学校1年生全員を対象にごみの減量とリサイクルに特化したゲームやぬり絵、工作などを「エコ部！」が主体となって実施	○	-	○	○	-	-	-	-	-		◆ 資源ごみの収集が月に1度しかないため、他のごみの日に出す市民がいるのではないか。他の収集方法の周知が必要ではないだろうか。
			◆ リサイクル推進員や団体と協力し、ごみの適正処理に向けた活動を行います。												
			◆ 適正なごみ処理のあり方を検討します。												
2) リユース・リサイクル	リユース・リサイクル	市民	◆ リサイクル製品の購入や中古品の活用など、再利用を心掛けます。	◆ カレンダーリサイクルを市役所大会議室で開催。令和元年度からは大会議室で開催後、会場を図書館に移動しロングラン実施。令和2年度からは図書館で実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		◆ 滝川市リサイクルフェア(フリーマーケット)は同時開催の空知WaiWaiフェスタ及び古本もってけまつりも新型コロナウイルス感染予防のため、開催を見送っており、中止は止むを得ないと考えられる。代わりとなるリサイクルの企画やイベントを検討していただきたい。
			◆ 使用済廃食用油・古繊維・不用となった小型家電の拠点回収の利用を心掛けます。	◆ 広報たきかわ令和2年2月号で、ごみの特集を掲載し、ごみ減量、リユースのPRを行った	-	-	-	○	-	-	-	-	-		
				◆ 平成28、29年度で市民の方から回収した中学校の制服を必要としている希望者へ譲渡した(余剰となった制服は、該当中学校に寄贈し、生徒の着替え等に活用)	○	○	-	-	-	-	-	-	-		
		事業者	◆ リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。	◆ 以下の場所で回収を実施(旧粗大センターについて令和4年度で終了) 古紙(旧粗大センター・リサイクリーン) 古着・古繊維(市役所・旧粗大センター・江部乙支所) 小型家電(市役所・まちづくりセンター・江部乙支所)(令和2年度終了)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			◆ 古紙のリサイクルを推進します。												
			◆ カレンダーリサイクル事業に協力し、余剰カレンダーを提供します。	◆ カレンダーリサイクルを市役所大会議室で開催。令和元年度からは大会議室で開催後、会場を図書館に移動しロングラン実施。令和2年度からは図書館で実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		市	◆ リサイクル製品やグリーン購入適合商品の購入に努めます。 ◆ 使用済廃食用油の回収・古繊維・不用となった小型家電の回収を進めます。 ◆ カレンダーリサイクル事業を行います。	◆ 平成28、29年度で市民の方から回収した中学校の制服を必要としている希望者へ譲渡した(余剰となった制服は、該当中学校に寄贈し、生徒の着替え等に活用)	○	○	-	-	-	-	-	-	-		【要望】 ◆ 問い合わせのあったものについては、随時追加していき、分別の分かりやすい一覧表を作成していただきたい。 ◆ ボランティア袋に落ちているごみ以外のものを入れている姿が見受けられる。使用方法を再度、周知していただきたい。
	フリーマーケット・リサイクルショップなど	市民	◆ フリーマーケット、リサイクルショップなどを活用します。	◆ 滝川市リサイクルフェア(フリーマーケット)は新型コロナウイルス感染予防のため開催を見送った。(同時開催のそらちWaiWaiフェスタ、古本もってけまつりも中止)	☆	○	☆	○	☆	☆	☆	☆	-		◆ 市職員による出前講座を、さらに活発に行いより広い層に分かりやすい分別、出し方を発信してほしい。
		事業者	◆ フリーマーケットに参加・協力します。	◆ ホームページ上で市内のフリマ情報並びにリサイクルショップ情報の配信を行った	○	○	○	○	○	○	○	○	○		◆ ごみ分別発足当時のようにごみかご等購入への補助を考えてはどうだろうか。
		市	◆ フリーマーケット情報交流事業などの強化など、リユース品の利用促進についての啓発を図ります。 ◆ 不用品データバンク事業を行います。 ◆ リサイクルフェアを開催します。	◆ 広報で毎月不用品データバンク事業を行った	○	○	○	○	○	○	○	○	○		◆ 既にごみ分別講座を開催済みの地域でも、開催機会を設けてほしい。

ウ 環境美化活動の推進

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) 環境の美化	不法投棄対応	市	◆ 不法投棄防止の啓発活動や監視体制の強化を図ります。	◆ 不法投棄監視員による市内巡回を実施(毎週月曜日～金曜日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【評価】 ◆ 不法投棄注意看板について、不法投棄の頻度が高い場所や、町内会の希望を汲んだ場所に設置したことを評価する。 【課題】 ◆ 環境保全の目標はごみ(一般ごみ・不法投棄)の減量化。 【意見】 ◆ 景品や特賞を設定したり優勝者を決める等、子供たちでもボランティアのごみ拾いに楽しく参加してもらえるようなプログラムを組んだらどうか。 ◆ ごみの不法投棄の現状等、様々な活動に参加したからこそ知ることができるので、多種多様な方に参加していただけるような周知、働きかけをした方が良いのではないだろうか。
	ボランティア活動の推進	市民事業者	◆ たきかわクリーンデイ(全市一斉清掃)に参加します。 ◆ ボランティア袋を活用し、環境の美化に努めます。	◆ 市民や事業者が、町内清掃・ごみ拾い等を随時実施 ◆ たきかわクリーンデイ(全市一斉清掃)の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けた 実施主体:町内会・事業所・団体・学校等 例年、春と秋の2回実施してたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため、春は「たきかわクリーンデイ」を設定せず、秋のみ実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		市	◆ たきかわクリーンデイ(全市一斉清掃)の期間を設定し、ボランティアの参加について呼び掛けます。 ◆ ボランティア袋を配布し、ボランティア活動を支援します。	◆ クリーンデイ取り組み期間のほか、必要に応じ、町内清掃・ごみ拾い等を実施する個人・団体等にボランティア袋を配布	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

地球環境

目標2:エネルギーを大切にし、環境への負荷の少ないまち

令和7年3月末 達成目標
滝川市の公共施設におけるエネルギー消費量 4,250kℓ
エコドライブによるCO2排出量 172,100kg/年
※令和6年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

○：実施
☆：中止
－：未実施

ア 地球温暖化対策の推進

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度											令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
1) 計画的な地球温暖化対策の推進	地球温暖化対策の実施	市民事業者	◆ 地球温暖化対策に関する情報提供・対策の知識と理解を深めます。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○	○	○	○			
		市	◆ 滝川市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、市の各施設において省エネルギーに取り組み、地球温暖化対策を率先して進めます。	◆ 滝川市立開西中学校での地球温暖化防止講演会・ワークショップを実施	-	○	○	○	○	○	○	○				
			◆ 地球温暖化対策に関する情報提供・対策の発信に努めます。	◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	-	○	○	○	-	-	-	-	-			
				◆ 「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした	-	-	○	○	-	-	-	-	-			
				◆ 「エコ部！」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施	-	○	-	-	-	-	-	-	-			
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	-	○	○	○	-	-	-	-	-			
				◆ 市内外の小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センター等と連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施	-	○	○	-	-	-	-	-	-			
				◆ 二酸化炭素排出抑制対策補助金を活用した地球温暖化防止事業の実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-			
				◆ ホームページを活用した情報発信を実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				◆ 「クールビズ」、「ウォームビズ」の推進並びに「ライトダウンキャンペーン」を実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
2) 省エネルギーの推進	情報収集・発信	市民事業者	◆ 省エネルギーに関する知識と理解を深めます。	◆ 空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示(水素燃料発電装置搭載)とエコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験ブースの出展	☆	○	☆	○	☆	☆	☆	☆	-	【評価】 ◆ 空知自動車学校と連携し、交通ルールを守るだけでなく「急発進・急加速・急ブレーキを避け、適切な車間距離をとる」などを実践する「エコドライブ」について講習を行うことで、「交通安全」のみならず「環境にやさしい」「燃費向上」といった一石三鳥の運転方法を認識してもらうことで、温室効果ガスの削減を目指した活動を継続していることを評価する。		
			◆ 省エネルギーに関するイベントや講座に参加します。	◆ 滝川市立開西中学校での地球温暖化防止講演会、省エネに詳しい北海道地球温暖化防止活動推進員等を招いた体験型ワークショップの実施(令和5年度と令和6年度は室蘭工業大学の准教授を講師として招いて開催)	○	○	○	○	○	○	○	○				
		市	◆ 省エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。	◆ 「エコ部！」並びに滝川高校科学部と連携した「エネルギー」をテーマにした夏休み特別イベントの実施	-	○	-	-	-	-	-	-				
			◆ 省エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。													

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度											令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	省エネルギーの実践	市民	◆ 環境家計簿などを活用した省エネルギーの取り組みを実践します。 ◆ 照明をはじめ、家電製品などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆ 公共交通機関の利用に努めます。 ◆ エコドライブの実践に努めます。 ◆ LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師である地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	-	○	○	○	-	-	-	-	-		◆ 街路灯をLED灯に切り替えたことで町内会の電気料金の節約に繋がったことを評価する。 ◆ 町内会等が維持管理する街路灯について、水銀灯やナトリウム灯からの消費電力の少ないLED灯への切り替えに際し、補助金制度を設け、切り替え推進を継続していることを評価する。ひとつひとつの街路灯の節電効果は小さいが、数が多くなることで市全体としては大きな効果となり、地球温暖化対策にもつながっていることを評価する。 ◆ 再生可能エネルギーについて、生ごみ、下水汚泥、燃やせるごみからエネルギーを回収する取り組みは、CO2削減につながり、地球温暖化対策として効果が高いことを評価する。	
				◆ ホームページを活用した省エネルギーに関する情報発信を実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				◆ 空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会及び卒業生を対象とした講習会において、エコドライブ講習会を実施。また、エコドライブに特化したメールマガジンを令和元年度まで配信	○	○	○	○	-	○	○	○	○			
				◆ 「エコたき」ポスター・チラシにて節電や省エネについての啓発を実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				◆ 環境家計簿(省エネモニター)を実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-			
				◆ 市内公民館の照明をLEDに切替促進。また、補助金を町内会に支出し、町内会等が維持管理する街路灯をLEDに切替促進市内街路灯のLED化推進(令和2年度からは新たにLEDからLEDの更新を補助対象に加えた)	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				◆ 「エコ部！」主催のイベント「エコたきまつりin國學院短大」において、小学校2年生を対象に北海道電力の講師がゲームやクイズを行い省エネについて学ぶ省エネ講座を実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-			
		事業者	◆ 照明をはじめ、電気設備などの使用時間や待機電力を減らし、節電に努めます。 ◆ 環境への負荷の少ない事業活動に努めます。 ◆ エコドライブを行います。 ◆ LED照明などの省エネルギー機器の導入に努めます。 ◆ 省エネルギーや温暖化対策の推進に取り組めます。 ◆ 環境省などによる省エネルギー診断などを利用した取り組みを検討します。 ◆ 環境省が策定した事業者向けのCO2排出削減対策への参加を検討します。	◆ 自動車の燃料に投入することで燃費効率を向上させる液体燃料触媒を公用車へ試験的に導入(試験期間:令和5年5月～令和6年3月)											◆ 地球温暖化を防止するために、温室効果ガスの発生を抑制する必要があり、太陽光発電など自然エネルギーの利用促進やLED照明の普及、エコカーの導入、公共交通機関の利用促進を図ることが求められる。 市民一人ひとりが地球温暖化についての知識を深め、どのような取り組みが必要なのかを考え行動するために、必要な情報の収集に努め、様々な機会を通じて発信していく必要がある。 ◆ ゼロカーボンシティに向けて、市としてもCO2削減に向けた取組を進めていく必要がある。	
市	◆ 環境家計簿を作成し、市民への普及に努めます。 ◆ 道路環境の整備や公共交通機関の確保に努めます。													【要望】 ◆ 自分が所属する町内会では、全部の街路灯をLED化することで電気代の節約につながった。他の町内会にもLED化を促すことによって、町内会の負担を減らすことに努めてほしい。 【意見】 ◆ 家庭から出る廃油はどこへ行き、どのように活用されているかを知る講座もあると良い。他市では、航空燃料SAFとして集められている廃油が滝川での活用方法を知ること無駄に燃えるごみとして廃棄されなくなるのではないかな。		

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
			<div>◆ エコドライブに関する情報の提供に努めます。</div> <div>◆ LED照明などの省エネルギー機器の導入や普及に努めます。</div> <div>◆ 町内会などが維持管理する街路灯のLED切替促進に努めます。</div> <div>◆ 公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設の長寿命化を図るための省エネルギー化を含む計画的な修繕に努めます。</div> <div>◆ 環境省が策定した事業者向けのCO2削減対策について、情報提供に努めます。</div>	<div>◆ 北海道空知総合振興局との共催で、「そらちゼロカーボンリレーパネル展」を開催。ゼロカーボン北海道への理解を深めるための普及啓発用パネルの展示を行った</div>	-	-	-	-	-	-	-	-	○		
3) 再生可能エネルギーの利用促進	情報収集・発信	市民事業者	<div>◆ 再生可能エネルギーに関する知識と理解を深めます。</div>	<div>◆ 「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施</div>	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
			<div>◆ 再生可能エネルギーに関するイベントや講座に参加します。</div>	<div>◆ ホームページに市内公共施設に設置した太陽光パネルの発電量等の再生可能エネルギー関連の情報を掲載</div>	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		市	<div>◆ 再生可能エネルギーに関する情報提供・対策の発信に努めます。</div> <div>◆ 再生可能エネルギーに関するイベントや講座の開催に努めます。</div> <div>◆ 廃棄物処理施設における発電 その他公共施設における再生可能エネルギー活用事例などの情報提供に努めます。</div>												
	再生可能エネルギーの導入	市民	<div>◆ 再生可能エネルギーについての情報収集・学習に取り組み、再生可能エネルギーの導入を検討します。</div>	<div>◆ 生ごみ、下水道の汚水によるメタンガス発電 可燃ごみ焼却による発電</div>	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				<div>◆ ホームページに再生可能エネルギー関連の情報を掲載</div>	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		事業者	<div>◆ 再生可能エネルギーの導入を検討します。</div>	<div>◆ (株)IHI環境エンジニアリング・IKE、ラサ工業(株)と共同研究協定の締結を結び、利用度の低い糞殻を燃料として活用する燃焼試験を実施</div>	○	○	○	-	-	-	-	-	-		
		市	<div>◆ 再生可能エネルギーの導入を検討するとともに普及・啓発に努めます。</div>	<div>◆ 駅前広場の整備工事開始 小型風力と太陽光のハイブリッド街路灯や、太陽光発電設備を屋根に設置した駐輪場を設置</div>	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
			<div>◆ バイオマスなど未利用の自然エネルギーなどの活用を検討します。</div> <div>◆ 駅前広場に、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーを導入します。</div>												

イ その他の地球環境問題への対応

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) PM2.5・フロンガスなどの情報収集・提供	情報収集・発信	市	<div>◆ PM2.5やフロンガスなどの地球環境問題について、国や北海道からの情報収集に努めるとともに、ホームページやコミュニティFMなどで必要な情報を市民に周知します。</div>	<div>◆ 滝川市ホームページに「PM2.5発生情報」を新設し、北海道や環境省が管理・発信している情報を市民へ提供</div>	-	○	○	○	○	○	○	-	-		

自然環境・農業

目標3: 身近な自然と触れ合うことでその大切さや素晴らしさを実感できるまち

令和7年3月末 達成目標
エコネット登録団体の自然保護活動参加人数
農業体験授業（事業）の実施率
※令和6年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。

計画期間累計8,700人
80%以上の実施率

○：実施
☆：中止
－：未実施

ア 身近な自然環境の保全と活用

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度											令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
1) 豊かな自然資源の情報発信	丸加高原や菜の花畑などの豊かな自然環境のPR	市民 事業者 市	◆ 滝川市の豊かな自然について、SNSや広報・ホームページ・イベントなどを通じて、全国に向けてPRをします。	◆ 広報、ホームページ、Facebook等を活用した、イベントやキャンプ場情報周知	○	○	○	-	-	-	-	-	-		【評価】 ◆ エコネット登録団体の活動により、子供たちが自然と触れ合える機会があることを評価する。 【課題】 ◆ エコネット登録団体との連携強化、ホームページやLINE、広報等を活用した登録団体のPR等を行い、各団体との結びつきを強化することを期待する。 【意見】 ◆ エコネットの活動や出前講座等、自分が知らない活動もあり、参加したいと思う。活動への参加や講座を受講することによって気づくこともあると思うので、色々な方に知ってもらえるような工夫や情報発信をやっていけたら良い。 ◆ 楽しみながら活動するということが大事であり、面白さに繋げるためにも、年次報告書に記載されている活動について工夫や他の方が実践した内容を発信しあう環境フェアのようなものを行ったらどうだろうか。	
				◆ 丸加高原で採取した木の実や枝を活用した工作体験の実施	○	○	○	-	-	-	-	-	-			
				◆ 地域おこし協力隊による自然体験イベントや子どもキャンプの実施	○	-	○	○	○	○	○	-	-			
2) 豊かな自然資源の活用と保全	街路樹・公園の適正な維持管理	市民 事業者	◆ 街路樹・公園の樹木などを維持するためのボランティア活動に参加し、自然環境への関心を深めます。	◆ 公園改修並びに公園の草刈等維持管理の実施。また、街路樹の選定作業の実施												
		市	◆ 公園の適切な維持修繕に努め、利用者の安全確保に努めます。 ◆ 街路樹の適正管理に努めます。		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	良好な水辺環境の保全	市民 事業者	◆ 川づくり活動に参加し、自然環境への関心を高めます。 ◆ 石狩川クリーンアップ作戦の参加など、河川の環境維持に協力します。	◆ 石狩川クリーンアップ作戦への参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
				◆ ボランティアによる石狩川再生の森(石狩川周辺の草刈り、森林の管理など)の実施												
		市	◆ 河川への不法投棄の監視など河川の環境保全に努めます。		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	自然体験など学習の提供	市民	◆ 自然体験や自然観察会などの取り組みに参加し自然環境への関心を高めます。	◆ エコネット登録団体による自然体験や自然観察会の開催時に職員がサポートを行った	○	○	○	-	-	-	-	-	-			
		市	◆ 自然体験や自然観察会などの開催及び情報提供などに努めます。	◆ 自然体験や観察会実施などの事前周知をホームページ上で行った	○	○	○	-	-	-	-	-	-			

イ 豊かな農業環境の保全と活用

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度											令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
1) 環境に やさし い農業 や地産 地消な どの推 進	減化学合 成農薬・減 化学肥料 などの環境 保全型農 業の普及・ 啓発	市民	◆ 減化学合成農薬・減化学肥料な どの環境保全型農業の理解を 深めます。	◆ 生産者のほ場等での田植え・稲刈り等の農業体験を通じ、環境保全型農 業の取り組みへの理解を深めた											【評価】 ◆ 農業体験、地産地消、食育について関 係機関団体と連携し、推進していること を評価する。	
		事業者	◆ 減化学合成農薬・減化学肥料な どの環境保全型農業に取り組 みます。		○	○	○	○	○	○	○	○				

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	地産地消の推進		◆ 用排水路など地域の共同管理している箇所環境の維持に努めます。	◆ 減化学合成農薬・減化学肥料などによる環境保全型農業による農産物(米・野菜)の生産。また、生産者に対し交付金による支援を実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		◆ 「そらちDEい〜ね」の農業体験受け入れ事業の実地は児童・生徒の食に対する考え方の基を作る大切な経験となる。地産地消、食育へと広がっていく。 【課題】 ◆ 子供達の好き嫌いを少なくする取り組みをする必要がある。 ◆ 農業体験を受け入れてくださる農家さんに大きな負担がかかるのではないかな。 【要望】 ◆ 農業体験は児童生徒にとって貴重な体験となることは間違いないので、継続されることを望む。 【意見】 ◆ 市民農園の活用。又は農協の協力を得て、ピーマン等の苦手食品を育て給食等への活用させてはどうだろうか。 ◆ 自分達の育てた野菜だと思うことで、子供達も食べてくれるのではないだろうか。
			◆ 減化学合成農薬・減化学肥料などの環境保全型農業の情報提供や支援に努めます。		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		市民	◆ 地元農畜産物の積極的な購入や中食・外食においては地産地消認定店の活用や地元農畜産物を活用したメニューを選ぶなど地産地消を推進します。	◆ そらちワイン×ワインFestaで滝川の食の魅力を発信	○	○	○	○	☆	☆	○	○	○		
				◆ たきかわ地産地消認定店ガイドブック及び滝川地産地消協議会フェイスブックによる地産地消メニュー情報の発信	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		事業者	◆ 地元農畜産物を活用したメニュー提供やレシピのPRなどを行い、普及に努めます。	◆ たきかわ地産地消夏のクラフトビアガーデンの開催(地産地消認定店の出店)	○	○	○	○	☆	○	○	○	○		
				◆ 市内小学校で市内生産者による農作物の授業及び交流給食	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		市	◆ 地産地消の給食の実施に努めます。	◆ ちよっ蔵まつり、道の駅たきかわ大収穫祭、たきかわ農業まつりにおける新米PR活動の実施	○	○	○	○	☆	☆	☆	-	-		
				◆ 広報たきかわにおける地産地消特集の掲載	○	○	-	-	-	-	-	-	-		
	食育の推進	市民	◆ 日常生活の中で健全な食生活の維持に努め、食を通じて自然の恩恵に対する理解を深めます。	◆ 第3次食育推進行動計画の策定	-	-	-	○	-	-	-	-	-		
				◆ 11月24日の「いい日本食の日」にちなみ、町内会の班回覧を通じて和食の普及啓発を実施	-	-	○	○	○	○	○	-	-		
		事業者	◆ 食育に必要な地元農畜産物や場の提供に努めます。	◆ 生活習慣病予防料理教室、料理づくりのつどいの開催「滝川おもしろ食育塾」での稲作体験と調理実習の実施令和5年度と令和6年度は田植え体験学習の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				◆ 滝川市食育推進市民会議並びに滝川市食育推進市民会議専門部会の開催	○	○	○	-	-	-	-	-	-		
		市	◆ 食育を実践するため、行政機関や関係団体、事業者などと連携調整に努めます。	◆ 第3次食育推進行動計画策定に向けた策定ワーキングの開催	○	-	-	-	-	-	-	-	-		
2) 農業とのふれあいの場の提供・確保	農業体験の普及啓発	市民	◆ 農業体験などの事業に参加します。	◆ 「そらちDEい〜ね」を介した農業体験受け入れ事業の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			◆ 市民農園などを活用します。	◆ 学校において、授業の一環として野菜などの栽培を実施した	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		事業者	◆ 農地見学などを受け入れることができる体制の整備を行います。	◆ JA青年部やとんぼの会が実施する農業体験学習等に参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				◆ 市民農園などを活用した、家庭菜園づくりにより農業に親しんだ	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			◆ 農業体験学習の講師として行政などに協力します。	◆ 滝川緑の少年団員を募集し、緑の募金活動、不法投棄の清掃、植樹、川下り、稲刈り、脱穀などの農業体験を行った	○	○	○	○	○	○	○	-	-		
			◆ 体験農園などの企画・運営を行政などと協力して行います。	◆ 広報やホームページで市民農園に関する情報提供を行い、市民の利用を促進した	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		市	◆ 農業体験学習を実施します。 ◆ 市民農園などの情報提供を行い、市民の利用を促進します。	◆ JAたきかわや行政が協力し、市民農園の運営を行った	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

環境コミュニティ

目標4: みんなが学び、共有することによる環境保全の環(わ)が広がるまち

令和7年3月末 達成目標	○：実施
環境学習リーダーの人数 第1次計画からの累計 350人	☆：中止
環境市民大会における参加者の平均評価点 85点以上	－：未実施
※令和6年度の達成率等は、年次報告書をご覧ください。	

ア 環境に関する情報の発信と共有

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) 情報の提供と共有	地域における環境活動の取り組み状況などの情報収集や情報提供	市民	◆ たきかわエコネットに登録した団体などの取り組み状況への関心を深めます。	◆ 企業がボランティア活動を行う団体に支援を行っている活動に、環境学習リーダー活動や環境保全活動行う団体を推薦し活動を支援した	○	○	○	○	○	○	○	○	○		【課題】 ◆ エコネット登録団体との連携強化、ホームページやLINE、広報等を活用した登録団体のPR等を行い、各団体との結びつきを強化することを期待する。 【意見】 ◆ エコネットの活動や出前講座等、自分が知らない活動もあり、参加したいと思う。活動への参加や講座を受講することによって気づくこともあると思うので、色々な方に知ってもらえるような工夫や情報発信をやっていけたら良い。
		事業者	◆ 環境に関する事業の実施・情報提供を行います。	◆ 「エコ部！」の指導をエコネット登録団体に依頼し、連携強化を図った	○	○	-	-	-	-	-	-	-		
		市	◆ 環境基本計画に基づき実施された状況を明らかにするために年次報告書を作成し、公表します。	◆ ホームページ「たきかわエコネットコーナー」に登録団体主催のイベント情報を掲載した	○	○	○	-	-	-	-	-	-		
				◆ 事業者向けの情報もホームページ上に掲載し周知を行った	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			◆ 各環境団体にたきかわエコネットへの登録を促し、それらの環境活動の情報を発信し共有することで、活動への参加を促進します。	◆ 年次報告書を作成・ホームページ上で公表した	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				◆ 北海道空知総合振興局との共催で、「そらちゼロカーボンリレーパネル展」を開催。ゼロカーボン北海道への理解を深めるための普及啓発用パネルの展示を行った	-	-	-	-	-	-	-	-	○		
			◆ たきかわエコネットに登録した団体などを支援し、それらの結びつきを強め、活動の活性化につなげます。												

イ 環境教育の充実

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
1) 環境学習・環境保全活動の促進	環境学習・環境保全活動に関するイベントの実施	市民	◆ 環境学習・環境保全活動に関するイベントに参加します。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○	○	○	○		【評価】 ◆ 平成28年度から令和元年度までは環境省の補助事業を活用し、環境学習リーダーを養成してきたが、補助事業終了後も滝川市と滝川高校が協力して取り組みを進めたこと、参加した学生が自分の行動を振り返るきっかけができたことを評価する。 ◆ 各学校種において、環境教育の充実を図っていることを評価する。 ◆ 「環境学習リーダー」等の活動は、次世代を育む若い世代へと、着実に浸透していることを評価する。 ◆ 年次報告書の発行を通し、市民に市や団体の取り組みを周知していることを評価する。
		事業者	◆ 事業所を環境学習の見学の場として提供するなど環境学習の取り組みの支援・協力を行います。	◆ 空知自動車学校と連携したイベント「そらちWaiWaiフェスタ&滝川市リサイクルフェア」でのエコカー展示(水素燃料発電装置搭載)とエコドライブシミュレーターによるエコドライブ体験ブースの出展	☆	○	☆	○	☆	☆	☆	☆	-		
		市	◆ 環境市民大会を開催し、環境に関する情報提供に努めます。	◆ 「環境シンポジウムin開西中学校」を実施	-	-	-	○	-	-	-	-	-		
				◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		
			◆ 環境学習・環境保全活動に関するイベントの開催に当たっては、市内の実践者などの人材に協力を求めます。	◆ 滝川高校理数科1年生が、中央保育所園児を対象にした科学工作をともに行う環境学習を実施	-	-	-	-	☆	☆	○	○	○		

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
				◆ 「COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした	-	-	○	○	-	-	-	-	-		◆ 環境問題に取り組むうえで、簡単に取り組むことができる身近な例を環境市民大会で講演したことを評価する。 ◆ 環境教育の充実は各学校での環境学習リーダーの活動に寄与している。 【課題】 ◆ 環境教育について一部の学校だけでなく、違う学校でも取り組んだ方が良い。 ◆ 子供たちを対象としたリサイクル意識の向上を目的とする学習の場を提供することにより、家庭ぐるみでのリサイクルと分別する取り組みへの行動を促す必要がある。 ◆ 今後、環境学習リーダーの育成が必須であるが、社会人への参加をどう推進していくのか。児童生徒から家庭にどう広げていくのが問題である。 【要望】 ◆ 高校生が将来、社会人になっていく上でいろんな教育が必要なことだと思うので、環境学習リーダーの取組を続けてほしい。 【意見】 ◆ 楽しみながら活動するということが大事であり、面白さに繋げるためにも、年次報告書に記載されている活動について工夫や他の方が実践した内容を発信しあう環境フェアのようなものを行ったらどうだろうか。 ◆ 環境問題は「身近なことから」と言われている。身近なことから声を上げてもらい行動に積極的に参加してもらいたい。
				◆ 空知自動車学校と連携し、高齢者が免許更新時に受講を義務付けられている高齢者講習会及び卒業生を対象とした講習会において、エコドライブ講習会を実施。また、エコドライブに特化したメールマガジンを令和元年度まで配信	○	○	○	○	-	○	○	○	○		
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		
				◆ 「エコ部！」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」並びに「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
				◆ 滝川高校と連携し、環境市民大会「環境シンポジウムin滝川高校」を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)(令和6年度からは、市単独での実施)	-	○	○	○	☆	○	○	○	○		
				◆ 市内外の小学生を対象に、北海道滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センター等と連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施	-	○	○	-	-	-	-	-	-		
				◆ 教育委員会と連携し、市内全小学生を対象に夏休みと冬休みに「エコたき」日記を配布、休み明けには児童が塗った「エコたきくん」ぬり絵を図書館に展示するとともに併せてウォームビズの啓発展示を実施	○	○	-	-	-	-	-	-	-		
				◆ 滝川市内高校生ボランティアチーム「エコ部！」の指導をエコネット登録団体、空知教育センター、地域おこし協力隊等に依頼し、連携強化に努めた。	○	○	-	-	-	-	-	-	-		
				◆ エコ部！と國學院大學北海道短期大学部が協働で、未就学児並びに小学生を対象に、リサイクルやエネルギー等に特化した環境学習イベントを主催し、市民が参加した	○	-	-	-	-	-	-	-	-		
				◆ マリアージュ イン ベルコにおいて環境市民大会を開催	○	-	-	-	-	-	-	-	-		
	次世代エネルギーパークの活用	市民	◆ 次世代エネルギーパークを活用した環境学習に参加します。	◆ 次世代エネルギーパークを活用した環境学習に参加するための視察対応の実施 富良野市市民団体(平成28年度) 北広島市市民団体(エコ・パートナーシップ北広島)(平成29年度)	○	○	-	-	-	-	-	-	-		
		事業者	◆ 次世代エネルギーパークを活用した環境学習への協力を行います。												
		市	◆ 次世代エネルギーパークを活用した環境学習を行います。												
	環境学習リーダーの育成	市民	◆ 環境学習リーダー養成講座を受講し、環境についての知識を習得します。												

項目	取り組み	主体	取り組み(行動)内容	平成28年度から実績(取り組み)	実施年度										令和6年度までの実績に関する委員からのコメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		事業者	◆ 環境学習リーダー養成のため事業者が保有している環境情報や実践している環境保全活動について、情報提供を行い、身近な環境学習の創出に協力します。	◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生が担っていた「地球温暖化防止活動普及大使」を「環境学習リーダーAdvance」として、高校生が小学生に環境教育を実施(令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止)	-	-	-	-	☆	○	○	○	○		
		市	◆ 環境学習リーダー養成講座を継続し、リーダーの育成を推進します。 ◆ 高校生ボランティアチーム「エコ部！」の活動の検証を行い、次世代リーダーの養成につなげます。	◆ 滝川高校理数科1年生全員と國學院大學北海道短期大学部が連携し、滝川市立二の坂保育所・花月保育所園児を対象とし「リサイクル」や「ごみ削減」、「省エネルギー」、「地球温暖化防止」とテーマにした環境教育を実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		
				◆ 國學院大學北海道短期大学部幼児・児童教育学科2年生を「地球温暖化防止活動普及大使」に任命し、(公財)北海道環境財団職員が講師となり地球温暖化防止の専門講座を受講した後、滝川市立二の坂保育所、滝川市立第一小学校、滝川市立東小学校で環境授業の実施	○	○	○	○	-	-	-	-	-		
				◆ 滝川高校理数科1年生が、中央保育所園児を対象にした科学工作をともに行う環境学習を実施	-	-	-	-	☆	☆	○	○	○		
				◆ COOL CHOICEでエコたき」ポスターコンテスト優秀作品をステッカーにして、市内を走るバス、タクシー、公用車に掲示し公共交通機関の利用を促す一助とした	-	-	○	○	-	-	-	-	-		
				◆ 「エコ部!」並びに滝川高校科学部と連携した「地球温暖化」、「エネルギー」をテーマにした夏休み特別環境教室の実施	-	○	-	-	-	-	-	-	-		
				◆ 小学生を対象に、滝川高校クッキング部、市立図書館、滝川市保健センター等と連携した「地産地消」と「ウォームビズ」、「地球温暖化」をテーマにしたイベントの実施	-	○	○	-	-	-	-	-	-		
				◆ 市立図書館主催の夏休み「調べる学習コンテスト」に参加し、「エコ部！」が夏休みに実施した特別イベントをとおして、子ども達が「地球温暖化」について、調べ・まとめる機会を提供	○	○	-	-	-	-	-	-	-		
				◆ 児童センターで地球温暖化防止に特化した環境授業を実施	○	○	○	-	-	○	○	○	○		
				◆ 國學院大學北海道短期大学部舩井ゼミ、まちつく6、「エコ部！」が協働で実施した食育イベントにおいて、市内稲作農家にご協力いただき、環境保全活動や稲作栽培についてのワークショップに参加した後、道の駅で「米」をテーマにしたイベントを実施	○	-	-	-	-	-	-	-	-		